

事業番号	15 09 05	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	長野県版「運動プログラム」普及事業				担当課	部局	教育委員会事務局	
						課・室	スポーツ課	
総合5か年計画	プロジェクト	8-1-3 教育再生プロジェクト、4-1-2 健康づくり・医療充実プロジェクト			E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 3 豊かな心と健やかな身体の育成			実施期間	S62 ~		

1 事業の概要

目指す姿	スポーツに親しむ機会を提供し、運動・スポーツの習慣化のきっかけを作ることにより、体力・運動能力の向上を目指す。			
現状	○長野県の児童生徒の体力は、依然として低い傾向にあり、体力向上に向けた全県的な取り組みが喫緊の課題となっている。 ○子どもの運動をする子としない子の二極化が進んでいる。学校における運動量の確保、保護者をはじめ地域へ啓発が必要である。			
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 学習指導要領		
	県民との協働による実施：検討中			
事業内容	① 成果目標 (H25)			
	○体力合計点 平成29年度までに51点台目標 ○体力合計点の全国順位 平成29年度までに10位台目標 H25は現状より高い合計点及び順位を目標			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初) (決算) H26 (当初)
	長野県版「運動プログラム」普及事業	直接	—	0 0 838
キッズ運動遊びどこでもゼミナール	直接	長野県版の運動遊び運動プログラムの普及を図る。 ・幼・保育園、小学校の教職員、地域の指導者、保護者を対象にした出前ゼミナールの開催・・・5地区で10回開催	221 194 221	
「体づくり運動」実技講習会事業	直接	小学校では走り方を中心とした実技講習会と中学校ではコアトレーニングを中心とした運動実技講習会について専門的に研究を行っている講師を学校に派遣し、一校一運動等の体力向上の取り組みの充実を図る。 ・小学校児童を対象としたスポーツ教室の開催・・・10校で開催 ・中学校生徒を対象としたスポーツ教室の開催・・・15校で開催	374 321 374	
		合計	595 515 1,433	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	5,370	2,116	595	1,433
	補正予算				
	合計(A)	5,370	2,116	595	1,433
	国庫支出金	3,443	1,356		838
	県債				
	その他()				
	一般財源	1,927	760	595	595
	決算額(B)	4,915	1,704	515	
概算職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	
概算人件費	8,258	8,258	8,258	8,258	
概算事業費(B(A)+C)	13,173	9,962	8,773	9,691	

成果目標の達成状況					
項目	H24末 (実績)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
体力合計点	49.1点 (H22)	49.6点	49.3点	未達成	49.9点
体力合計点の全国順位	31位	29位	29位	達成	27位

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「キッズ運動遊びどこでもゼミナール」は、5地区で計10回開催した。幼稚園・保育園、学校、家庭、地域など、生活の中に運動やスポーツを取り入れ習慣化していくきっかけとなる機会となっている。 ・「体づくり運動」実技講習会は、日々の授業に活用できるように研修内容に配慮して実施した。 ※しあわせ信州創造プラン進捗管理制度における目安値との整合性を図るため、目標の修正を行いました。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ○幼児期から、運動遊びに親しみ、生活の中に取り入れて習慣化していくために、幼児期を対象とした運動プログラムを新たに開発し、普及していく。 ○市町村、学校等、子どもの体力向上についての関心が高まる中、モデル市町村を中心に「キッズ運動遊びどこでもゼミナール」及び「体づくり運動実技講習会」開催の意向が増加してきており、より一層の内容の充実に向けていく。
--------------------	--